

アイエス通信第 38 号は神谷が担当させていただきます。

《 冬キャンプのススメ 》



参考画像です。多くのキャンプ場では直火による焚き火は禁止されています。焚き火台を使用しましょう。

最近のキャンプブームの影響から我が家も友人たちとキャンプに出掛けることが多くなりました。

昔、親に連れて行ってもらったときはカレーを作ったりなどが定番でしたが、今となっては道具が充実したこともあって普段家庭で作るよりも手の込んだ料理を皆さん作ってらっしゃいます。テントは、年々大きくなり今では2ルームテントが主流になり、夜になればライトでテントをデコレーションし薪をくべ、火を囲み、子供たちは夜更かしを許され、大人はアルコール片手にみんなで少し長く感じるキャンプ場の夜を楽しむがふつうになっています。

そんな一見何の不满もない現代のキャンプですが、キャンプシーズンの夏に行くとどうしても残る不满があります。それが、雨と虫です。特に多くの女性陣にとってはテントにで寝ることですらおっくうなのにそこに虫まで現れると2度とキャンプに付いて来てくれません。そこでお勧めするのが、冬キャンプです。

冬にキャンプと聞くと、ただひたすら寒いのではというイメージがあります。さすがに積雪があるところでは別として、朝晩の寒さは厳しいですが、最近のオートキャンプ場はほぼすべてにコンセントが装備されており暖房器具をつなげることによって、かなり寒さを抑えることが出来ます。テントの中にヒーターや電気カーペット、電気毛布を用意すれば就寝時も全く問題ありません。また料理の腐る心配もなく、夜に作ったものをそのまま置いていても朝ごはんにすることができます。キャンプ場自体も非常に空いていて、夜は一段と星が輝いて見え、より長くなった夜は団欒を充実させてくれます。このように冬キャンプであれば、夏にキャンプに行くよりも雨や虫の心配をすることなく防寒設備さえあれば夏よりも快適にキャンプを楽しむことが出来るのでおススメです。

《 アイエスの 3S vol. 6 》

前回に引き続き、『整理』の作業を進め社内にあった金型関連のパンフレットや、資料、テキストなどを分別しました。本棚に詰め込まれた約10年分の資料を分けながら見ていくと、本当に様々な商品があるなあと関心しつつも、古い商品カタログと、新しい商品カタログがあまり変わってないものも多く見られました。良くも悪くも金型業界らしいなあとと思いながら先人の知恵の偉大さに気づかされた今回の作業でした。徐々にですが『整頓』の作業も進み社内が変わってきたような気がします。

株式会社 IS DESIGN アイエス通信編集部 発行日 2018 年 11 月 19 日 発行人 池田英樹

〒581-0816 大阪府八尾市佐堂町 2 丁目 3-15 久宝ビル 301 TEL:072-929-1336 FAX:072-929-1338

Email:h. ikeda@is-design.net URL: <http://www.is-design.net>

Copyright (c) 2014 株式会社 IS DESIGN all rights reserved